



## 「国語科を中心に思考力・判断力・表現力等の育成を目指して」

校長 高柳 政行

本校では、志木市教育委員会より、令和2・3・4年度、研修主題「すべての児童が自分の思いを豊かに表現できる授業づくり～国語科の指導を通して～」に関する研究委嘱を受け、共栄大学の光野公司朗先生の指導を受けながら研修を積み重ねてきています。

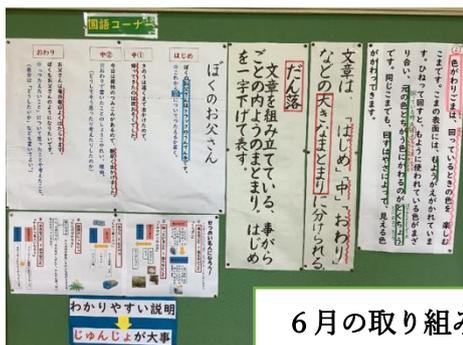
今年度の11月25日(金)には、これまでの研究成果を発表する研究発表会を開催します。多くの教育関係者に来校いただき、子ども達の豊かな思考力・判断力・表現力等が育成された姿をお見せできたらと考えています(1年・3年・5年は国語科の授業公開、2年は生活科、4年・6年は総合的な学習の時間の授業公開を予定)。

昨年の7月号でも紹介(ホームページにある令和3年7月号の学校だよりを参照)させていただきましたが、「ぼくのおとうさん」という説明文教材を学校全体(1年生は、2年生になったら扱います)で扱う共通教材(説明文を学ぶ上で基本となる言語活動)とし、論理的な思考の枠組みの構成を学年毎、系統的に学んでいます。その流れがわかるように掲示物も工夫しています。

このような言語活動の学びを学年毎に国語科の説明文でしっかり押さえていきます。そして、国語科で学んだことをさらに、他教科で活用していくことが研究主題の「児童が思いを豊かに表現(思考力・判断力・表現力等)」できる力につながっていくと考えています。

他教科では、特に、地域との関連を重視した生活科や総合的な学習の時間で活用・発揮できる授業を計画・実行・改善等に取り組んでいます。このことをカリキュラム・マネジメントといいます。このような学びが世界基準の新学習指導要領で求められている3つの資質・能力の育成につながり、子ども達の学力向上にもつながっていくものと考えています。実際、効果も出てきています。ですから、今年度はさらに、研究を深めていこうと授業研究を推進しています。

保護者の皆様には、今後の授業参観や懇談会等の折に、その一端に触れていただければ幸いです。



6月の取り組み

### 「ぼくのおとうさん」その他の教材・教室掲示の工夫



2年生の授業研究



4年生の授業研究



6年生の授業研究